

移動等円滑化取組報告書（航空旅客ターミナル施設）

（令和2年度）

住 所 沖縄県宮古島市平良字下里1657-128

事 業 者 名 宮古空港ターミナル株式会社

代 表 者 名 代表取締役社長 下地 義治  
 （役職名および氏名）

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の5の規定に基づき、次のとおり報告します。

I 前年度の移動等円滑化取組計画書の内容の実施状況

（1）移動等円滑化に関する措置の実施状況

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる航空旅客ターミナル施設	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
・エレベーター	・エレベーター2基を2020年度～2021年度にかけて更新する。 出入口扉に窓を設け、かご内⇄外が相互に視認できる仕様とする。	・2020年度にエレベーター1基更新済み。（職員、荷物用） 出入口扉に窓設置。

② 航空旅客ターミナル施設を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
案内誘導表示の設置 関係機関との連携	旅客の到着エリア出口付近に、バス・タクシー・障害者用乗降場への案内誘導表示を設置する（2020年度）  飛行機の乗降客に対する介助は航空運送事業者が行っており、到着旅客がバス・タクシーを利用して移動する場合、お客様の要望を聞き各乗降場までの案内及び介助を行っている。今後も関係機関との連携を図り人的支援の充実に努める。	到着出口にバス・タクシー・障害者用乗降場への案内誘導表示を設置。

④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
乗降場表示の増設 関係機関との連携	バス・タクシー・障害者用・一般車両用の各乗降場へ案内表示を増設し、指定箇所の利用を促す。（2020年度）  施設1階の観光案内所でバス・タクシーの乗降場、出発時刻等の問い合わせに随時対応している。また、筆談用具を用いて情報提供しており、今後も関係機関との連携を図り人的支援の充実に努める。	各乗降場の案内表示を更新。併せて、各乗降場までの案内誘導表示を増設し、指定箇所の利用を周知。

⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
研修会等への参加	(一社)全国空港ビル事業者協会が主催する技術研修会などに参加しバリアフリー関係の情報取得に努め、職員の知識向上、施設の営繕に反映させる。	令和2年10月1日～2日に沖縄県で開催された空港施設ユニバーサルデザインセミナーに参加。

⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての航空旅客ターミナル施設の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況

(2) 移動円滑化の促進を達成するために(1)と併せて講ずべき措置の実施状況

管理事務所、警察、航空運送事業者等と連携して、乗降場の適切な利用を周知し、高齢者、障害者等の移動円滑化を図るため、自社においては、各乗降場への案内誘導表示を増設するとともに各乗降場の案内表示を更新設置し視認性向上に努めた。

(3) 報告書の公表方法

自社が運営するWEBサイトに掲載

(4) その他